

## 高橋栄次郎氏遺徳顕彰基金事業による木育の実施

### 1 はじめに

花巻農林振興センターは、平成2年に和賀地方林業改良普及協会が創設した「※高橋栄次郎氏遺徳顕彰基金(100万円)」の事務局を引き継いでいますが、低金利で利回りも低く管理上の問題も懸念されることから、現管理者の北上地方農林業振興協議会林業振興部会(以下「林業振興部会」という。)では、基金による事業実施を検討することにしました。

※入畑ダムに水没した部分林の共有者等が補償金の一部を寄付して創設した基金で、当時の林業振興協議会が管理し受け継いできたもの。

### 2 事業の検討

この基金は、地域の林業・林産業の振興と発展を目的に創設されたもので、林業振興部会では、目的に沿った内容でかつ実施に際する事務は簡易にすることを念頭に検討しました。

基金創設から30年を経過したものの初めて原資を取り崩すので、2年の検討期間を掛けて令和2年8月に事業の実施要領を定めました。

### 3 事業の実施

林業振興部会が事業要望を募ったところ、北上市と西和賀町から要望が出されました。今回は、北上市の要望事業について報告します。

北上市の計画は、市内の保育園、幼稚園に木製の積木を配布して、幼児に木育を実施したいとの内容でした。北上市では、平成30年から協議会事業で木の積木の配布を始めましたが、予算は極僅かで施設に行き渡るには10年以上要する見込みでした。

今回の事業は、市内の全保育園、幼稚園に、

幼児数に応じて積木を複数組配布する計画で、全体で100組購入することになっています。

積木は、西和賀町の工房で製作している国産広葉樹材を使用した積木で、円柱や四角柱、三角など9種類50個で1組になっています。

職人が一つ一つ手作りしているため、3月末までには50組の製作が限度で、事業としては繰越事業になりそうです。



### 4 今後に向けて

平成30年に配布した施設の幼児や先生から好評だったので、北上市職員から全施設に木の積木を配布したいとの声が入り、今回の事業で一気に市内全保育園、幼稚園への配布が決まりました。

令和2年は、花巻市に県内産の木をふんだんに使ったおもちゃ美術館が開館し、花巻でも「木育」の取組みが始動しました。

これを契機に、今後花巻の幼児達にも木に触れる機会が増えるよう様々な取組みたいと考えています。